

森山通信

元気モリモリ森山かずひろは、
元気な千葉市をつくります！

森山かずひろ 検索



児童相談所の体制強化 および援護の必要な子どもへの支援について!

子どもたちの命を虐待等から守るための取り組み

これまで児童虐待防止対策の強化として、児童相談所の機能拡充、専門職員の増置、一時保護所の環境再整備等の他、里親制度の周知および充実を求めてきた所です。結果、児童相談所における嘱託弁護士や警察OBの配置のほか、法基準に基づき児童福祉司、児童心理司を配置し、人員体制の強化が図られてきたこと。更には、一時保護所の環境の再整備に取り組まれていることを承知しています。

質問1

これまでの取り組みを踏まえて、今後の児童相談所の体制強化策については、どのような視点で強化するのか？

答弁1：昨年の法改正により、さらなる体制強化が示されたなか、児童虐待相談対応件数の多い首都圏においては、専門職員の確保は、喫緊の課題となっていることから、今後も配置基準を踏まえた人員体制を整え、増加する児童虐待相談に的確に対応していくため、人材の確保や育成を行う施策について検討を進めていきます。

また、児童虐待通告が急増するなか、令和元年度に初期対応の専従班である「虐待対策班」を設置し、子どもの安全確認や安全確保、保護者介入に的確かつ迅速に当たっており、虐待対応協力員の増員を図ってまいります。さらには、虐待通告等の夜間受付体制を強化するため、「夜間電話相談員」の増員について検討を進めてまいります。



一時保護所や里親制度推進事業など具体的な取り組みを

児童福祉法等改正法が成立し、国の来年度予算案には、児童相談所に医師や弁護士の配置、児童相談所間の情報共有システムの構築などが計上されました。

一方、里親制度の拡充では、里親の負担を軽減させ担い手を増やすため、委託する前の子どもたちとの面会にかかる交通費などを補助する事業を始めるなど、国において具体的な予算が計上されています。本市においても里親の負担軽減策は必要です。

質問2

本市の一時保護や里親制度など、援護が必要な子どもへの支援についての取り組みは？

答弁2：一時保護所での生活を充実させるため、教員OBによる学習支援のほか、所外活動の実施や余暇活動の充実などに努めるとともに、非常勤の看護師や保育士の増員、研修強化等による資質向上など、人員体制の強化に取り組んでいます。また、一時保護人数の増加への対応と、年齢に則した生活環境確保のため、引き続き幼児用居室の整備を進めてまいります。

さらには、一時保護については、年齢や状態像など児童の状況に応じて児童養護施設等に委託する場合がありますが、より適切な環境を確保するため、児童養護施設における一時保護専用施設の整備に関する助成について検討を進めており、今後も整備の促進を図ってまいります。

次に、里親制度推進事業については、NPO協働事業の内容を見直し、養育里親候補者のリクルートから委託後支援までの包括的支援を事業内容として進めており、新生児委託についても、出産前の段階から相談を受理し、医療機関とも協力しながら、スムーズに委託につなげるよう取り組みを行っています。

なお、子どもと里親の関係調整を十分に行った上で里親委託を行うことができるよう、マッチング期間に要する経費について国が補助制度を創設したことを踏まえ、受託する里親の負担軽減に繋がることから、本市においても、今後検討してまいります。



オープンデータの取り組みについて

政府IT総合戦略本部のオープンデータ基本指針には、いわゆるオープンデータの意義として、1つに、官民あわせ広範な主体による、公開された公共データの活用で多様なサービスの提供が可能となり、現代的諸課題の解決や経済活動の活性化に資すること。2つに、公共データを根拠とした政策の立案など、行政の高度化・効率化が図られること。3つに、政策立案等に用いられた公共データが公開されていることで、行政の透明性や信頼性が高まることなどが示されています。

加速度的にICTの重要性が増す現代社会において、行政サービスの重要な課題としてオープンデータの活用を推進すべきと考えます。

これまでオープンガバメント推進協議会の公開シンポジウムに参加するなど、公共が持つデータを公開することで、市民生活への有効的な活用にどのようにつながるかを注視してきた所であります。

質問3 オープンデータの取り組み状況と今後の方向性については？

答弁3：昨年10月に国土交通省が推進している歩行者移動支援サービスの普及に向けた取り組みの一環として、海浜幕張駅周辺を対象に、バリアフリー情報の収集イベントを開催しました。

収集した情報については、車椅子での外出を支援するアプリ等での利用が可能となるよう、令和元年度末までにオープンデータとして公開する予定です。

また、平成25年度に福岡市等と設立したオープンガバメント推進協議会における取り組みとして、令和2年1月に開催された公開シンポジウムでは、オープンデータの分析等をもとに街の魅力を競い合うシビックパワーバトルを実施し、参加自治体の高校生がオープンデータの活用を体験する機会を創出しております。

今後の方向性についてですが、本市のオープンデータ推進の基本的な考え方としては、市が保有する情報を市民や事業者に広く公開することにより、公共データの二次利用を促し、市民生活の利便性の向上や新産業の創出等を推進することを目指しております。

この基本的な考え方を平成26年度に指針として定め、市が保有する情報を積極的にオープンデータとして公開しているところですが、データ公開件数の増加と比較して、活用事例の増加が年間数件に留まっていることから、利用者のニーズに合ったデータを公開していくことが肝要と考えております。

引き続き、既に普及が進んでいるアプリケーション事業者との連携や、地域課題の解決に取り組む民間団体等との意見交換などを行うことで、よりニーズに即したデータ公開に向けた検討を進め、市民生活の利便性の向上等に繋がるよう取り組んでまいります。



市政に関するご意見、ご要望など、みなさまの声をお聞かせください。

千葉市議会議員

森山かずひろ

Tel.043-245-5483 Fax.043-245-5584

http://moriyama-kazuhiro.com/